平成３０年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人 広島県府中市社会福祉協議会

平成３０年度　事業報告書目次

１　事業報告概要 …… １
２　事業報告
＜法人の経営に関する事業の推進＞
組織運営事業 …… ２
＜地域福祉活動の推進＞
地区社協活動 …… ４
ふれあいいきいきサロン事業 …… ４
音楽療法事業 …… ５
敬老事業 …… ６
ささえあいネット事業 …… ７
ボランティアセンター事業 …… ７
福祉教育推進事業 …… １０
民生委員児童委員協議会事業 …… １０
障害者社会参加促進事業 …… １１
障害者週間事業 …… １２
備品貸出事業 …… １２
地域支え合い推進事業 …… １３
「認知症カフェ」支援事業 …… １３
＜生活支援事業の推進＞
福祉サービス利用援助事業（かけはし） …… １４
権利擁護事業 …… １５
生活困窮者自立支援事業 …… １５
ふくし相談事業 …… １６
生活援護事業 …… １６
生活福祉資金貸付事業 …… １７
民生福祉資金貸付事業 …… １７
＜在宅福祉サービス事業の推進＞
家族介護者交流事業 …… １７
元気ふれあい通所事業 …… １８
介護保険対象外ヘルパー事業 …… １８
・介護保険事業
訪問介護事業 …… １８
居宅介護支援事業 …… １９
訪問入浴介護事業 …… １９
・障害者福祉事業
障害者居宅介護事業 …… ２０
障害者入浴サービス事業 …… ２０
生活介護事業 …… ２０
＜児童福祉事業の推進＞
放課後児童クラブ事業 …… ２１
＜諸事業＞
日本赤十字社広島県支部府中市地区 …… ２２
府中市共同募金委員会 …… ２２

１　事業報告概要

地域共生社会の実現に向け、つながりを深め課題や困りごとを支えあう地域社会の実現が求められているなかで、地域住民の活動を支援するため社会福祉協議会が果たす役割は重要になっています。

平成 30 年 7 月の豪雨で広島県は多大な被害を受け、府中市においても道路の寸断による地域の孤立や土砂崩れ、浸水被害など、これまでにない災害が発生しました。そのような中、地域では近隣での声かけや助け合いが迅速に行われ、改めて地域のつながりの力を感じました。

社会福祉協議会では災害ボランティアセンターを開設し、ニーズ把握やボランティア派遣など被災者への支援活動を行い、ボランティアセンター閉鎖後も被災者への継続的見守り支援に取り組みました。

重点目標に掲げた「法人の経営に関する事業の推進」では、地域福祉推進に向けた中期計画の策定や、経営企画委員会の開催などにより、適切な法人運営に努めました。また、地域における公益的取組みのため市内の社会福祉法人で府中市地域福祉貢献活動協議会を立ち上げリフレきずな食堂などの取り組みを始めました。

「地域福祉活動の推進」では、生活支援コーディネーターの配置や常設的なお茶の間サロンの新たな地域指定、地域での認知症カフェ運営に対する支援など、住民主体の地域福祉活動を推進しました。

「生活支援事業の推進」では、生活困窮者自立支援事業として新たに生活困窮世帯の子どもに対する学習支援に取組み、多様な課題を抱えた人たちが地域で安心して生活を継続するため、権利擁護事業、福祉サービス利用援助事業（かけはし）、ふくし相談事業、資金の貸付事業などを関係機関等と連携して行いました。

「在宅福祉サービス事業の推進」では、適切なサービスの提供に努めるとともに、安心・安全なサービス提供体制の向上を図っています。

利用者減が課題となっていた介護保険事業については、収益確保に向けた検討を行い、効率的な運営を目指し訪問入浴介護事業所の本所、支所の統合を行いました。

「児童福祉事業の推進」では、「放課後児童クラブ事業」を受託し、高学年を対象とした府中学園放課後児童クラブＣの運営を通じ、児童健全育成、子育て支援の取組みを展開しました。

２　事業報告

＜法人の経営に関する事業の推進＞

組織運営事業　　法人運営事業

組織内の連絡、調整を図り、効率的な組織管理と適正な法人運営に努めるため、事業全体の管理、計画的な事業執行をおこないました。

１　役員活動

（１）理事会

第１回　平成 30 年 5 月 30 日（水）　出席役員 12 名
議事　平成 29 年度事業報告について
平成 29 年度決算報告について
評議員会の招集について
平成 30 年度地域福祉活動生活資金配分（案）について
会長の職務執行の状況報告

第２回　平成 30 年 9 月 14 日（金）　出席役者 13 名
議事　平成 30 年度資金収支第 1 次補正予算（案）について
平成 30 年度社会福祉協議会会長表彰の被表彰者について
評議員候補者の推薦について
評議員選任・解任委員会の招集について
評議員会の招集について

第３回　平成 30 年 12 月 21 日（金）　出席役員 12 名
議事　地域福祉推進に向けた中期計画（案）について
会長の職務執行状況報告について
中間監査報告
平成 30 年度第 1 回経営企画委員会報告

第４回　平成 31 年 3 月 12 日（火）　出席役者 13 名
議事　平成 30 年度資金収支第 2 次補正予算（案）について
平成 31 年度事業計画（案）について
平成 31 年度資金収支予算（案）について
評議員会の招集について
事務局長の選任について

（２）評議員

第１回　平成 30 年 6 月 14 日（木）　出席評議員 16 名
議事　平成 29 年度事業報告について
平成 29 年度決算報告について

第２回　平成 30 年 9 月 28 日（金）　出席評議員 16 名
議事　平成 30 年度資金収支第 1 次補正予算（案）について
理事の選任について

第３回　平成 31 年 3 月 28 日（木）　出席評議員 17 名
議事　平成 30 年度年度資金収支第 2 次補正予算（案）について
平成 31 年度事業計画（案）について
平成 31 年度資金収支予算（案）について

（３）正副会長会議
平成 30 年　5 月 28 日（月）　平成 30 年　9 月 10 日（月）
平成 30 年 12 月 14 日（金）　平成 31 年　3 月 12 日（火）
（４）監査
平成 30 年　5 月 22 日（火）　業務執行状況及び財務の状況について
平成 30 年 11 月 14 日（水）　業務の執行状況について
（５）委員会
評議員選任・解任委員会　平成 30 年 9 月 18 日（火）　出席委員 4 名
議事　評議員の選任について
経営企画委員会　平成 30 年 12 月 12 日（水）　出席委員 10 名
介護保険事業の現状と今後の方向性について

２　事務局活動

職員研修
全体研修
平成 30 年　4 月 20 日（金）
「平成 30 年度府中市社会福祉協議会事業計画・予算について」
平成 30 年　8 月 17 日（金）
「セルフケア研修」　ヨガを通して心と体の健康を
平成 31 年　2 月 22 日（金）
講演「地域共生社会づくりに向けた社協事業・活動展開」について
提案「社協の介護保険事業をめぐる現状と今後の方向性について」
「地域福祉推進に向けた中期計画について」
介護サービス課定例研修　毎月第 3 金曜日

３　組織強化活動

（１）会費・賛助会費　（　）内は前年度

一般会費	1 世帯	300 円	3,275,840 円	(3,330,570 円)
団体・施設会費	1 口	3,000 円	48,000 円	(54,000 円)
賛助会費	1 口	2,000 円	1,485,000 円	(1,546,000 円)

会員数　670 件（699 件）
（２）地域福祉推進のための中期計画策定
（３）府中市地域福祉貢献活動協議会　事務局

４　広報啓発活動

（１）社協だより「せせらぎ」の発行
6 月・9 月・12 月・3 月　発行部数 13,400 部
（２）広報委員会　4 回開催（委員数 4 名）
（３）ホームページ運営及びフェイスブックの活用

５　市民健康＆福祉まつり

平成 30 年 10 月 13 日（土）～14 日（日）　会場：府中市文化センター
テーマ「からだ こころ 微笑むふちゅう」
社会福祉関係功労者表彰　社会福祉活動功労者　2 人

６　福祉バザー＆ふれあい広場

平成 30 年 12 月 1 日（土）　会場：リ・フレ
物品提供点数　8,120 点　（　7,082 点）
収益金　1,287,991 円　(956,470 円)
ボランティア協力者　延 193 人　（　194 人）

事業活動支出額　46,334 千円

＜地域福祉活動の推進＞

地区社協活動　　地域福祉事業

地区社会福祉協議会の活動支援や助成をはじめ、地域住民やボランティアによる自発的・積極的な「ささえあいやふれあい活動」の推進を図りました。

（　）内は前年度

１　地区社会福祉協議会連絡会の運営

（１）総会

平成 30 年 6 月 18 日（月）　出席者　25 地区　37 人

議事　活動・決算報告、計画・予算について
　　小地域福祉活動助成事業の決定について
　　敬老会について

（２）研修会

役員研修会

平成 30 年 11 月 8 日（木）　出席者　20 人（今治市）

内容　地区敬老会の開催状況について

地区社協役員研修会

平成 31 年 3 月 15 日（金）　出席者　24 地区　25 人

内容　活動報告等並びに活動計画等の提出について
　　小地域福祉活動助成事業申請について
　　講演　地域における「支え合い活動」のすすめ方
　　広島県社会福祉協議会　地域福祉課　課長　吉野　篤史

２　地区社会福祉協議会への助成

活動費助成（34 地区）2,194,813 円（2,231,482 円）（会費納入額の 67／100）

３　小地域福祉活動助成事業の実施

子どもとおとしよりのふれあい活動	22 地区	（28 地区）	431,006 円（538,781 円）
ささえあい活動	17 地区	（18 地区）	283,091 円（320,420 円）
介護研修会・介護予防研修会	13 地区	（13 地区）	122,416 円（126,456 円）
合計	52 地区	（59 地区）	836,513 円（985,657 円）

４　社協「掲示板」整備（取替・修理）事業

修理	2 地区	2 基	20,000 円（1 万円を上限に修理費助成）
取替	4 地区	9 基	388,800 円

事業活動支出額　3,472 千円

ふれあいいきいきサロン事業　　地域福祉事業

高齢者や障害者、子育て中の親子を地域で支えるためのふれあいの場をつくり、交流の中で安心して暮らせる地域づくりに向け活動を展開しました。

（　）内は前年度

１　ふれあい・いきいきサロン活動の実施

（１）ふれあい・いきいきサロンの開催状況と助成

開催地区	89 か所	（ 87 か所）
開催回数	2,293 回	（1,824 回）

参加者数　　延　32,856 人（延 28,602 人）
助成額　　4,030,000 円（4,027,000 円）
（２）上下地域いきいきふれあい事業の実施
開催回数　　10 回（10 回）
参加者数　　延　265 人（延 328 人）
ボランティア数　　285 人（320 人）
（３）企画委員研修会の開催
ふれあい・いきいきサロン企画委員会
府中会場　平成 31 年 3 月 15 日（金）　上下会場　平成 31 年 3 月 22 日（金）
出 席 者　78 サロン　104 人
内　容　　平成 30 年度の関係書類の提出と平成 31 年度の取り組みについて
講　　演　「〇〇は喫煙よりも身体に悪い」
行政説明　介護保険法等による講師派遣について　等

２　社協型活動総合推進事業（小地域のお茶の間づくり）の実施

地域の人が気軽に集える場づくり、地域を支える担い手（安心サポートリーダー）づくり、日常的な声かけや見守りなどの活動づくりを推進するため定期的な訪問による進捗確認や課題整理、活動の広報等について取り組みを行いました。

［指定終了］
より道「とろも」
開催回数　　48 回（47 回）
参加者数延　　1,360 人（1,531 人）
助成額　　208,000 円（580,000 円）
［指定１年］
ティールーム四日市
開催回数　　47 回
参加者数延　　2,427 人
助成額　　580,000 円
緑ヶ丘お茶の間サロン
開催回数　　37 回
参加者数延　　1,713 人
助成額　　580,000 円（580,000 円）

事業活動支出額　5,887 千円

音楽療法事業　　地域福祉事業

地域や施設・病院などと連携を取りながら、介護予防領域・療法領域・生きがいづくり領域を柱として、その人がその人らしく過ごせるよう援助しました。

（　）内は前年度

１　療法領域での取り組み

（１）高齢者領域

ふれあい・いきいきサロン	266 回	（251 回）	延 4,960 人	（延 4,747 人）
特別養護老人ホーム	1 施設	（1 施設）	延　45 人	（延　48 人）
養護老人ホーム	1 施設	（1 施設）	延　448 人	（延　366 人）

グループホーム	1 施設（1 施設）	延	62 人（延 83 人）
老人保健施設	1 施設（1 施設）	延	48 人（延 48 人）
デイサービス	1 施設（1 施設）	延	285 人（延 285 人）
（２）成人領域			
知的障害者施設	6 施設（6 施設）	延	1,322 人（延 1,295 人）
精神障害者施設	1 施設（1 施設）	延	193 人（延 166 人）
医療施設　病院	1 施設（1 施設）	延	164 人（延 143 人）
（３）子ども領域			
児童福祉施設	1 施設（1 施設）	延	269 人（延 268 人）
発達障害児	10 ｹｰｽ（10 ｹｰｽ）	延	172 人（延 139 人）
子育て支援センター	1 施設（1 施設）	延	72 人（延 83 人）
こどもの音ひろば	2 教室（2 教室）	延	132 人
（４）その他			
医療領域	1 ｹｰｽ	延	12 人

２　生きがいづくり領域での取り組み

（１）シルバーコーラス教室	2 教室（2 教室）	延	618 人（延 636 人）
（２）ピアノ教室	8 人　（7 人）	延	141 人（延 128 人）
（３）おとなの音ひろば	1 教室	延	286 人

３　その他の取り組み

（１）職員研修

平成 30 年 6 月 2 日（土）～3 日（日）
日本音楽療法学会中国支部大会（岡山）
平成 30 年 9 月 14 日（金）～16 日（日）
日本音楽療法学会学術大会（高松）
＜非常勤職員資質向上＞
平成 30 年 10 月 31 日（水）「動きにくい体とリハビリテーション」

（２）ピアノ教室　第 8 回小さな音楽会の開催

平成 30 年 12 月 21 日（金）　ピアノ教室受講生によるソロ・連弾の発表会

（３）第 14 回せせらぎコンサートの開催

平成 30 年 10 月 13 日（土）　会場：府中市文化センター
内容：音楽療法に参加されている団体の演奏等発表
ゲスト：ＡＮＤＺ（アンズ）

（４）講演関係

平成 30 年 4 月 1 日（日）協和地区女性会「音楽療法について」
平成 30 年 6 月 23 日（土）府中市老連中部地区「演奏会」
平成 30 年 8 月 24 日（金）府中市老人大学上下地区「高齢者における音楽療法」
平成 31 年 3 月 7 日（木）府中市老人大学西部「口腔ケア」

事業活動支出額　13,343 千円

敬老事業　　地域福祉事業

敬老の意を表すため敬老会の開催支援等や高齢者に対しての長寿を祝福する事業を実施しました。

（　）内は前年度

１　敬老会運営の支援

地区社会福祉協議会へ記念品費、会場費の助成

会場　　32 か所（32 か所）

敬老者　　8,304 人（8,223 人）

助成額　　10,377,840 円（10,255,161 円）

２　敬老会反省会の開催

府中市地区社会福祉協議会連絡会の役員研修と同時開催

平成 30 年 11 月 8 日（木）　出席者 20 人（愛媛県今治市）

内容　各地区の敬老会開催状況について

３　100 歳万歳事業

平成 30 年度に 100 歳を迎えられる 19 人（27 人）

お祝い金　3 万円（3 万円）

４　広報

社協だより（第 186 号）へ事業周知

事業活動支出額　11,475 千円

ささえあいネット事業　地域福祉事業

利用者と協力員の適切なコーディネートと活動時の協力員の安全確保に努めながら、住民による有償の日常的な生活支援サービスを提供し、暮らしの中のちょっとした困りごとを住民同士がお互いさまの気持ちで支え合う活動を推進しました。

（　）内は前年度

１　広報

社協だより（第 185 号）へ事業周知

２　利用者と協力員の利用調整

相談件数　　213 件（176 件）

活動件数　　185 件（169 件）

実利用者数　　45 人（ 41 人）

活動者数　　23 人（ 20 人）

協力員登録者数　　50 人（ 80 人）

３　研修会等の開催

ささえあいネット「すけっとや」協力員交流会

平成３１年２月２０日（水）　上下支所　協力員８名参加

平成３１年２月２７日（水）　本　　所　協力員８名参加

事業活動支出額　434 千円

ボランティアセンター事業　地域福祉事業

ボランティア活動ニーズの把握や活動のコーディネートを行うとともに、ボランティア活動への関心を高めるために、幅広くボランティアについての周知、活動者同士の交流を行い、ボランティア活動の推進を図りました。

7月に発生した豪雨災害の際には、府中市被災者生活サポートボランティアセンターを開設し、ボランティア活動者の派遣を通して被災者の生活復旧を支援しました。

府中市被災者生活サポートボランティアセンター閉設後は、府中市地域支え合いセンターを開設し、被災者の生活支援を行いました。

（　）内は前年度

１　ボランティアセンターの運営

（１）ボランティアセンター登録状況

登録状況　26 団体（27 団体）299 人（311 人）

（２）ボランティア連絡協議会加入団体

17 団体（19 団体）189 人（217 人）

（３）個人ボランティア　本所　4 人（2 人）　支所 218 人（211 人）

２　府中市被災者生活サポートボランティアセンターの運営

平成３０年７月に発生した７月豪雨災害で被害を受けた方々を支援するため、府中市被災者生活サポートボランティアセンターを開設。ボランティア活動者の受け入れや支援ニーズとのマッチングを行い、約１か月間、復旧支援を行いました。閉設後は府中市地域支え合いセンターを開設し、被災者の復旧活動を支援しました。

（１）府中市被災者生活サポートボランティアセンター

開設時期【平成 30 年 7 月 11 日～8 月 6 日】

※上下支所は 7 月 9 日からボランティア受け入れ開始

ニーズ受付総数 60 件　完了数 38 件　キャンセル/未対応数 22 件

ボランティア活動者受け入れ延べ人数 618 人（本所 552・上下 66）

＜主なボランティアニーズ＞

家屋や敷地内に流れ込んだ土砂の撤去・水に浸かった家財の運び出し・
飲料水や生活用品の物資運搬・泥水で汚れた室内の拭き上げ

（２）府中市地域支え合いセンター

開設時期【平成 30 年 10 月 23 日～平成 31 年 3 月 31 日】

対象世帯数 52 件

（罹災証明書を取られた 181 世帯中、情報提供に許可頂いた世帯）

配置　主任生活支援員 1 名　生活相談支援員 1 名

府中市被災者生活サポートボランティアセンター閉設後、被災された方々の生活を支援するため、府中市地域支え合いセンターを開設。主任生活支援員 1 名と生活相談支援員 1 名を配置し、罹災証明書を取られた 181 世帯でセンターへの情報提供に許可頂いた世帯 52 世帯に対し訪問等を行い、被災状況の確認や困り事などを聞き、支援が必要な世帯に対して情報提供や関係機関等へつなぐなどの支援を行いました。

３　ボランティアの育成と新たな人材の発掘

府中市被災者生活サポートボランティアセンターの活動に協力頂いた方の中から、今後府中市で発災した際、協力を頂ける方々に登録を呼びかけ、多くの方に登録を頂きました。

４　技術ボランティアの養成

障害者社会参加促進事業により実施

５　ボランティア活動情報の発信

社協だより、ホームページへの掲載

６　ボランティア活動保険の受付・加入促進

加入受付　19 件（18 件）

（A プラン 179　B プラン 24　災害 B プラン 8　A プラン大規模災害特例 383）

平成 30 年度は府中市でも災害が発生したこともあり、A プラン(大規模災害特例)の加入者が 383 人。外部団体では、お茶の間サロンや地区社協の保険加入もありました。

7　ボランティアグループへの活動助成

26 団体（27 団体）392,800 円（395,000 円）

8　府中市被災者生活サポートボランティアネットワークの取組み

大規模災害発生時に迅速に対応できる体制づくりを行う機関として、府中市被災者生活サポートボランティアセンターの閉設時に会議を開き、今回の豪雨災害での対応を協議し、次の災害に備えてどのような必要があるか検討を行いました。

（1）被災者生活サポートボランティアネットワーク推進会議の開催　1 回

開催日時：平成 30 年 8 月 6 日

府中市被災者生活サポートボランティアセンターの運営状況について報告を行い、今回の災害に対する各団体の取り組みや活動についてご報告を頂く。その後、府中市被災者生活サポートボランティアセンターについて協議。現状、支援ニーズも終息したということで、当日付での閉設を決定する。

（2）7 月豪雨災害町内会・災害ボランティアセンター・地域支え合いセンター取り組み報告会・研修会

- 開催日時：平成 31 年 3 月 16 日（土）10：00～12：00
  会　場：府中市保健福祉総合センター（リ・フレ）3 階パレアホール
  「府中市被災者生活サポートボランティアセンター活動報告」
  府中市社会福祉協議会　ボランティアセンター　加納正通
  「協和地区の取り組みとサテライト運営の報告」
  協和地区社会福祉協議会　会長　下恒太郎
  「本山町内会の取り組み報告」
  本山町内会　役員　武田純治
  「府中市地域支え合いセンターの運営状況報告」
  府中市地域支え合いセンター　生活支援相談員　高橋保美
  「被災防止、災害復旧へ向けた地域における防災関係づくり」
  ローカリズム・ラボ　代表
  広島県地域支え合いセンター専門相談員　井岡仁志
- 開催日時：平成 31 年 3 月 16 日（土）14：00～16：00
  会　場：府中市上下町民会館　2 階大会議室
  「府中市被災者生活サポートボランティアセンター活動報告」
  府中市社会福祉協議会　上下支所長　今岡將次
  「協和地区の取り組みとサテライトの運営報告」
  協和地区社会福祉協議会　会長　下恒太郎
  「上下高校生徒のボランティア活動報告」　広島県立上下高校
  「府中市地域支え合いセンターの運営状況報告」
  府中市地域支え合いセンター　主任生活支援員　作原政和
  「被災防止、災害復旧へ向けた地域における防災組織づくり」
  ローカリズム・ラボ　代表
  広島県地域支え合いセンター専門相談員　井岡仁志

事業活動支出額　3,845 千円

福祉教育推進事業　　地域福祉事業

学校や関係機関・団体と協働し、福祉やボランティアに対する理解を深めるため、福祉教育を推進しました。

（　）内は前年度

１　小中学校および義務教育学校への助成

（１）福祉教育推進助成事業

小学校、中学校、義務教育学校の児童・生徒の福祉教育にかかわる活動助成

小中学校 12 校（12 校）　1 校につき 7 万円（7 万円）

（２）福祉教育活動特別助成事業

学校独自の福祉教育及びボランティア学習の推進助成

小中学校 8 校（8 校）　1 校につき 3 万円（3 万円）

２　体験学習の実施

（１）中学校・義務教育学校生徒社会福祉施設等体験学習

市内福祉施設での 2 日間の施設体験学習

実施期間　平成 30 年 7 月 30 日（月）～8 月 3 日（金）

事業委託施設　市内 8 福祉施設（11 施設）

参加中学生人数　26 人（35 人）

（２）福祉体験学習

車いす体験や高齢者疑似体験、手話、盲導犬学校キャラバンなどの講師派遣

実施校数　6 小学校（7 小学校）

事業活動支出額　1,407 千円

民生委員児童委員協議会事業　　地域福祉事業

委員の活動しやすい環境づくりに努めるため、府中市民生委員児童委員協議会の事務局として支援しました。

１　定例会議の開催

（１）地区会長会議（関係機関出席）毎月 1 回・地区民協定例会　毎月 1 回

（２）正副会長会議

平成 30 年 4 月 12 日（木）　出席者 3 名

議事　平成 29 年度事業報告について　平成 29 年度決算報告について

平成 30 年度事業計画について　平成 30 年度予算について

（３）理事会

平成 30 年 4 月 20 日（金）　出席者 17 名

議事　平成 29 年度事業報告について　平成 29 年度決算報告について

平成 30 年度事業計画について　平成 30 年度予算について

（４）総会・研修会

平成 30 年 5 月 21 日（月）　出席者 112 名

議事　平成 29 年度事業報告について　平成 29 年度決算報告について

平成 30 年度事業計画について　平成 30 年度予算について

２　部会の活動支援

（１）児童福祉部会

①　全体研修会

平成 30 年 8 月 24 日（金）　出席者 106 名

講演「子どものこころの理解と大人の役割」

～大人になってつまずかないために～

講師：社会福祉法人 広島いのちの電話　理事　永川　邦久さん

②　主任児童委員研修

平成 30 年　5 月 18 日（金）　出席者 11 名

平成 30 年　9 月 14 日（金）　出席者 10 名

平成 30 年 11 月　9 日（金）　出席者 11 名

平成 31 年　2 月　8 日（金）　出席者 11 名

（２）民生福祉部会

全体研修会

平成 30 年 10 月 23 日（火）　出席者 94 名

講演「民生委員に期待されること～活動範 0 囲と役割について～」

講師：広島県民生委員児童委員協議会　会長　猪上　優彦さん

３　ボランティア活動の実施

わかば作業協力　31 回

４　その他

（１）ブックスタート事業（4 か月健診時に主任児童委員を中心に活動）

（２）災害時要援護者避難支援プランへの協力

事業活動支出額　435 千円

障害者社会参加促進事業　　地域福祉事業

障害者の自立と社会参加の促進を図るため、障害者の日常生活及び社会生活上必要な支援事業を実施しました。

（　）内は前年度

１　要約筆記者派遣事業

派遣回数　6 回（5 回）　派遣人数　20 人（13 人）

２　手話通訳者派遣事業

派遣回数　39 回（28 回）　派遣人数　41 人（44 人）

３　要約筆記奉仕員養成事業

講習回数　26 回（40 回）　延受講者数　208 人（280 人）

４　手話奉仕員養成事業

基礎講座　講習回数　23 回（36 回）　中級講座　講習回数　22 回（34 回）

延受講者数　565 人（700 人）

５　朗読奉仕員養成事業

講習回数　22 回（18 回）　延受講者数　220 人（180 人）

６　点訳奉仕員養成事業

講習回数　19 回（30 回）　延受講者数　152 人（160 人）

７　点字・声の広報発行事業

府中市広報や必要性の高い情報等を希望利用者へＣＤ録音・点訳

提供回数　24 回（24 回）
音訳 CD　各月 1 回×12 か月
点訳点字書類　各月 1 回×12 か月
その他、お悔み・身障通信・社協せせらぎ・議会だより・絆などを音訳・点訳

８　重度身体障害者移動支援事業

在宅福祉サービスカー利用件数　5 件（7 件）

９　家族相談員紹介事業

相談員　　1 人（1 人）
年間相談件数　120 件（47 件）
利用人数　　14 人（12 人）

事業活動支出額　1,466 千円

障害者週間事業　　地域福祉事業

障害者の社会参加促進と障害者に対する理解を深めることを目的として、障害者週間（12/3～12/9）にあわせて、障害者関係団体と連携し事業を実施しました。

（　）内は前年度

１　障害者週間記念事業「つなごうＤａｙ」の実施

（１）実行委員会の開催　3 回（4 回）
（２）「松尾貴臣トーク＆ライブ」の実施
平成 30 年 12 月 8 日（土）　会場：リ・フレ 3 階パレアホール
参加者　157 人（291 人）

事業活動支出額　340 千円

備品貸出事業　　地域福祉事業

在宅福祉の増進を図るため、身体障害児・者や高齢者等に対し、福祉用具の貸出を行いました。また、地域福祉の推進を図るためレク機材の貸出を行いました。

（　）内は前年度

１　福祉用具の貸出

貸出件数	ベッド	35 件	（29 件）
	車いす（長期）	15 件	（12 件）
	車いす（短期）	109 件	（77 件）
	介護カー	5 件	（ 0 件）

２　レク機材の貸出

貸出件数　405 件（374 件）

事業活動支出額　433 千円

地域支え合い推進事業　　地域福祉事業

新たな介護予防・日常生活支援総合事業による、高齢者を支える地域の支え合い体制づくりの推進に向けて、生活支援コーディネーターとして必要な役割を行うための取り組みを行いました。

１　ニーズ把握

70 町内会を対象に「通いの場」調べの実施
住民主体の地域福祉活動への訪問　　16 か所
ふれあい・いきいきいきサロン訪問　　24 か所

２　地域資源の見える化

地域福祉活動の取り組みを広報紙へ掲載（187 号、188 号）

３　生活支援の担い手養成

介護サポーター養成講座の実施協力　　本　　所　　8 月 9 日～8 月 10 日
　　上下支所　　12 月 20 日～12 月 21 日

４　関係者のネットワーク化

府中市地域包括ケア会議参加（上下地区含む）36 回

５　その他生活支援体制整備の構築に向けた取り組み

関係する研修会等への出席　11 回

事業活動支出額　8,004 千円

「認知症カフェ」支援事業　　地域福祉事業

認知症の人とその家族の孤立化を防止し、地域で支える体制づくりを進めるため、「認知症カフェ」を定期的に運営する住民に対し、運営費の一部を助成しました。

「認知症カフェ」への活動助成

「認知症カフェ」の活動の開催状況と助成
開催地区（府中地区）　　3 か所
　　（上下地区）　　1 か所
利用者数　　延 628 人
助成額　　58,000 円

事業活動支出額　60 千円

＜生活支援事業の推進＞

福祉サービス利用援助事業（かけはし）　生活支援事業

認知症や障害などにより、自分ひとりでサービスの利用等の判断をすることが不安な人やお金の管理に困っている人などに対し、福祉サービスの利用申込み、契約手続き、日常的なお金の出し入れ、預貯金通帳などの預り支援を行い、地域での生活を支援しました。

（　）内は前年度

１　福祉サービス利用援助事業の実施

実利用人数	48 人	（　53 人）
支援総件数	1,993 件	（2,012 件）
認知症高齢者等	553 件	（　458 件）
知的障害者等	556 件	（　748 件）
精神障害者等	630 件	（　537 件）
その他	254 件	（　269 件）
実新規相談人数	19 人	（　29 人）
相談総件数	82 件	（　91 件）
認知症高齢者等	49 件	（　48 件）
知的障害者等	15 件	（　0 件）
精神障害者等	7 件	（　25 件）
その他	11 件	（　19 件）
契約件数	7 件	（　12 件）
終了件数	12 件	（　8 件）
専門員数	3 人	（　3 人）
生活支援員登録者	12 人	（　10 人）

２　せせらぎ調整会議の開催

毎月１回の利用調整会議を開催

３　職員の資質向上

平成 30 年　5 月 23 日（水）生活支援員養成研修連絡会議（広島市）
平成 30 年　6 月 13 日（水）かけはし専門員連絡会議（広島市）
平成 30 年　9 月　7 日（金）生活支援員スキルアップ研修第１回（府中市）
平成 30 年　9 月 18 日（火）生活支援員スキルアップ研修第２回（府中市）
平成 30 年 12 月 10 日（月）～ 11 日（火）
平成 30 年度 中国ブロック日常生活自立支援事業専門員研修会（鳥取県）
平成 31 年　1 月 30 日（水）居住支援セミナー（府中市）
平成 31 年　3 月 11 日（月）かけはし専門員研修（広島市）

４　関係機関との連携

利用者への支援を円滑に行うため、関係機関との連携を密にし事業内容の周知を図りました。

５　広報　ホームページへの掲載

事業活動支出額　4,385 千円

権利擁護事業　　生活支援事業

開かれた成年後見制度の相談窓口として市民に対する定期的な相談会を開催し、制度の適切な運用を支援するとともに、判断能力不十分な方に対し、本会が成年後見人等を受任し、安心して地域生活を営むことができるよう努めました。

（　）内は前年度

１　法人後見の受任

（１）受任件数　　3 件（　4 件）

（２）延支援件数　356 件（337 件）

２　成年後見制度に関する相談

新規相談件数　13 件（14 件）　※毎月 1 回の定期相談分含む。

延対応件数　　37 件（19 件）

事業活動支出額　368 千円

生活困窮者自立支援事業　　生活支援事業

府中市からの受託事業として、生活に困窮している人の多様で複合的な課題を解きほぐしながら、課題がより複雑化・深刻化しないよう、本人の状況に応じて必要な支援を行い、生活困窮状態から脱却できるための取り組みを各関係機関と連携して行いました。

（　）内は前年度

１　体制整備

（１）任意事業「子どもの学習支援事業」の開始

２　相談支援業務

（１）相談実績等

相談者数　　102 人（78 人）

延対応回数　1,194 回（1,429 回）

自立相談支援事業プラン策定数　　5 件（12 件）

家計相談支援事業プラン策定数　　3 件（ 4 件）

（２）相談内容（主訴）

病気・健康・障害	2 人（3 人）	家賃・ローン	3 人（5 人）
仕事・就職	3 人（3 人）	家族関係	4 人（3 人）
ひきこもり・不登校	3 人（1 人）	住まい	5 人（4 人）
税金や公共料金	2 人（1 人）	仕事上の不安・トラブル	0 人（2 人）
DV・虐待	2 人（1 人）	収入・生活費	41 人（18 人）
債務	4 人（4 人）	地域との関係	1 人（1 人）
介護	0 人（0 人）	食べるものがない	1 人（2 人）

その他（貸付、権利擁護等）31 人（30 人）

（３）男女別

男性　50 人（39 人）　　女性　49 人（36 人）　　不明　3 人（3 人）

３　会議開催・出席状況

（１）支援調整会議の開催　　8 回（14 回）

（２）庁内連携会議への出席　1 回（1 回）

４　子どもの学習支援事業

（１）集合型

府中会場（第２・４土曜日）　16 回　延参加者数　216 名

上下会場（第１土曜日）　8 回　延参加者数　13 名

（２）訪問型　利用者数　2 名　延対応回数　31 回

（３）進学支援　利用者数　3 名　延対応回数　207 回

事業活動支出額　16,721 千円

ふくし相談事業　生活支援事業

府中市ふくし相談センターとして、関係機関と連携して社会資源を効果的に活用し地域住民の生活上の様々な悩みごとに対応できるよう、福祉相談を実施しました。

（　）内は前年度

１　府中市ふくし相談センターの運営

（１）一般相談

開催日数　49 日（49 日）相談件数　25 件（27 件）相談人数　26 人（29 人）

（２）司法書士相談

開催日数　11 日（10 日）相談件数　55 件（21 件）相談人数　67 人（27 人）

（３）弁護士相談

開催日数　12 日（12 日）相談件数　73 件（70 件）相談人数　95 人（96 人）

（４）相談員運営委員会

平成 31 年 3 月 8 日（金）出席者 11 人

２　相談員研修の実施

平成 30 年 9 月 28 日（金）出席者 10 人

府中簡易裁判所視察研修

平成 31 年 2 月 17 日（日）出席者 6 人

スマイリーキクチ講演会「インターネットと人々のかかわり」

事業活動支出額　715 千円

生活援護事業　生活支援事業

地区民児協と協働して世帯の生活の安定、自立を図るため、生活上の問題を抱え緊急に経済的支援が必要となった世帯の支援活動を行いました。

（　）内は前年度

１　地区民児協への配分

配分額合計　3,860,000 円（3,860,000 円）

２　各地区民児協からの支援

支援件数合計　27 件（29 件）

支援額合計　660,000 円（654,000 円）

事業活動支出額　3,860 千円

生活福祉資金貸付事業　　生活支援事業

低所得者、障害者または高齢者の経済的自立と生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図るため、広島県社協の受託事業として必要な相談支援に努めました。

（　）内は前年度

資金貸付相談

（１）相談件数　25件（20件）
（２）申請及び決定
　　申請件数　１件
　　決定件数　１件　決定額　450,000 円
（３）年度末貸付残高
　　20 件（20 件）　7,597,880 円（6,940,754 円）

事業活動支出額　582 千円

民生福祉資金貸付事業　　生活支援事業

生活の窮迫の援護と世帯の自立の援助を目的とし、低所得世帯に対し、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、必要な相談支援と資金貸付を行うよう努めました。

（　）内は前年度

資金貸付

（１）貸付件数　1 件（6 件）
（２）貸付金額　70,000 円（449,000 円）
（３）償還額　358,000 円（267,000 円）
（４）年度末貸付残額　14 件（21 件）　624,000 円（982,000 円）

事業活動支出額　70 千円

＜在宅福祉サービス事業の推進＞

家族介護者交流事業　　在宅福祉サービス事業

在宅介護が継続できるよう、在宅介護者を介護から一時的に開放し、介護者のストレスの軽減と介護者相互の交流等により心身の元気回復を図りました。

（　）内は前年度

１　旅行の実施

日帰り旅行　　広島県三次市　参加者　31 人（31 人）

２　認知症家族の集いを実施

H30 5/23…１２人　9/19…１０人　11/21…１０人
H31 2/6…５人　（各回に包括・社協・医師会が参加）

事業活動支出額　423 千円

元気ふれあい通所事業　在宅福祉サービス事業

創作活動や介護予防に配慮した体操など行うことで、閉じこもりを予防し、心身の活性化を図り利用者が健康で意欲的な生活が継続できるよう努めました。

（　）内は前年度

１　元気ふれあい通所事業の実施

利用者数　16 人（16 人）　延利用者数　521 人（660 人）

事業活動支出額　1,171 千円

介護保険対象外ヘルパー事業　在宅福祉サービス事業

（　）内は前年度

１　ひとり親家庭支援員派遣事業

ひとり親家庭の安定した生活を支援するためにヘルパーを派遣し、生活援助を提供しました。

利用者数　1 人（1 人）　延利用回数　13 回（8 回）

２　府中市子育て訪問サポート事業

子育てに不安や孤立感等を抱える家庭に対し、家事や育児補助の支援を行いました。

利用者数　2 人　（1 人）　延利用者数　38 回　（8 回）

３　「おまかせ」介護保険対象外サービス事業

安定した在宅生活の継続と自立支援、生活の質の向上を目的に社協自主事業「おまかせ」サービスを提供しました。

利用者数	本所	18 人（19 人）	延利用回数	本所	614 回（297 回）
	支所	28 人（29 人）		支所	80 回（ 81 回）
合計		46 人（48 人）			694 回（378 回）

事業活動支出額　410 千円

・介護保険事業

訪問介護事業　在宅福祉サービス事業

要介護、要支援認定を受けられた方に対して、住み慣れた地域や自宅で生活が継続できるよう、ヘルパーの専門性をいかした生活援助や身体介護のサービスを提供するとともに、介護予防訪問介護相当の方に対し、介護予防、自立支援の視点からサービスを提供しました。また、市が実施する「訪問型サービスＡ」を受託しました。

（　）内は前年度

１　ヘルパーによる在宅サービスの提供

（１）訪問介護

利用者数	本所	147 人（126 人）	延利用者数	本所	1,140 人（ 997 人）
	支所	72 人（ 63 人）		支所	520 人（ 507 人）
合計		219 人（189 人）			1,660 人（1,504 人）

（２）介護予防訪問介護相当(介護予防・日常生活支援総合事業)

利用者数	本所	98 人（ 90 人）	延利用者数	本所	786 人（ 739 人）
	支所	23 人（ 23 人）		支所	184 人（ 182 人）
合計		121 人（113 人）			923 人（ 921 人）

（３）訪問型サービスＡ（平成 30 年 10 月より市から受託）

利用者数　本所　1 人　　延べ利用者数　本所　7 人

人材の育成、資質の向上では、事業所内の定期的な研修会の開催や外部研修への積極的な参加により、職員の知識や技術の向上を図りました。また、職員が働きやすい職場環境づくりやキャリアアップのための資格取得等の支援により、人材の確保に努めました。

介護サポーター養成研修　　8 月 8・9 日（府中）　9 人
12 月 20・21 日（上下）14 人

事業活動支出額　87,191 千円

居宅介護支援事業　在宅福祉サービス事業

要介護、要支援認定を受けた方々の在宅生活の継続を支援するため、心身の状況や環境、本人、家族の希望を勘案してケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、効果的にサービスが提供されるよう努めました。

（　）内は前年度

１　ケアプラン（居宅サービス計画）の作成

（１）要介護プラン

利用者数	本所	154 人（141 人）	延利用者数	本所	1,332 人（1,082 人）
	支所	156 人（137 人）		支所	1,217 人（1,129 人）
合計		310 人（278 人）			2,549 人（2,211 人）

（２）要支援プラン

利用者数	本所	35 人（ 64 人）	延利用者数	本所	358 人（ 586 人）
	支所	65 人（ 67 人）		支所	628 人（ 605 人）
合計		100 人（131 人）			986 人（1,191 人）

２　要介護認定調査の実施

調査件数　本所　65 件（61 件）　　支所　43 件（52 件）

３　介護支援専門員としての質の向上

多職種協働の在り方等の研修会に参加するとともに、事業所内では定期的な研修や事例検討等を行いました。

事業活動支出額　40,827 千円

訪問入浴介護事業　在宅福祉サービス事業

自宅での入浴が困難な要介護認定を受けた方に対して、入浴車で訪問し、看護師、介護福祉士等、専門職による入浴を実施しました。また、入浴介護技術等の研修会へ参加するとともに、事業所内では定期的な研修会や勉強会を開催しました。

30 年度より本所の入浴事業は支所へ統合されています。

（　）内は前年度

利用者数	本所	0 人（ 8 人）	延利用者数	本所	0 人（ 48 人）
	支所	37 人（32 人）		支所	211 人（161 人）
合計		37 人（40 人）			211 人（209 人）

事業活動支出額　18,591 千円

・障害者福祉事業

障害者居宅介護事業　在宅福祉サービス事業

障害者の方々が地域で自立した生活ができるよう障害者総合支援法に基づき、身体介護、家事援助、通院介助、同行援護及び移動支援等のサービスの提供を行いました。

（　）内は前年度

利用者数	本所	35 人（ 39 人）	延利用者数	本所	363 人（390 人）
	支所	2 人（ 2 人）		支所	24 人（ 24 人）
合計		37 人（ 41 人）			387 人（414 人）

事業活動支出額　13,631 千円

障害者入浴サービス事業　在宅福祉サービス事業

自宅での入浴が困難な障害者に対して、入浴車で訪問し、看護師・介護福祉士等、専門職による入浴を実施しました。

（　）内は前年度

利用者数	本所	0 人（1 人）	延利用者数	本所	0 人（ 57 人）
	支所	3 人（1 人）		支所	32 人（ 38 人）
合計		3 人（2 人）			32 人（ 95 人）

生活介護事業　在宅福祉サービス事業

平成 30 年度は下記 3 事業を一体的に実施しました。

特別支援学校や相談支援事業者等との連携を図りながら、府中市及び近隣エリアの重症心身障害のある方を中心に、サービスの提供を行いました。

また、学齢期の重症心身障害のある児童の長期休暇中等の受け入れも引き続き行い、重症心身障害児者の方への支援というコンセプトが確立してきています。

こうしたことから、小規模ながら若年の重症心身障害の方を中心として、障害が重くても地域で安心して生活ができるまちづくりの一翼を担う事業所として、存在価値を実感できています。

組織の安定化については、人材育成に繋がる組織体制作り、看護師の確保、職員のスキルアップは引き続き課題として残っているといえます。

１　生活介護事業

主に重症心身障害のある方を中心として、日中の活動や介護（食事、入浴、排泄、看護師による吸痰、胃瘻、浣腸等の医療的ケア）を行いました。

２　日中一時支援事業

学齢期（小学～高校）の重症心身障害のある児童を長期休業中等に受け入れを行い、卒業後の生活のイメージを作ることや、近い将来の当該事業所利用につながること等を目的に実施しました。

３　障害者相談支援事業

特別支援学校や相談支援事業者との情報交換を行い、ニーズの把握を行いました。併せて、サービス等利用計画については利用計画作成、モニタリングに取り組みました。これは、他業務との兼務での実施となっています。

平成 30 年度　利用実績　　（　）内は前年度

	生活介護事業	日中一時支援事業	相談支援事業
登録者数	18 名　　（17 名）	5 名　　（6 名）	2 名（8 名）
延利用人数	1,214 名（1,072 名）	48 名　（91 名）	2 名（8 名）

事業活動支出額　28,441 千円

＜児童福祉事業の推進＞

放課後児童クラブ事業

１　開設日数及び利用人数

（１）開設日数

通 常 時　198 日　長期休業　40 日　土曜日 7 日　計 245 日

（２）利用実人数

実利用者数	4 年生	18 人	5 年生	10 人
通 常 時 延利用者数	4 年生	2,195 人	5 年生	1,669 人
長期休業 延利用者数	4 年生	343 人	5 年生	268 人

２　保護者会の開催について

第 1 回　平成 30 年 7 月 13 日（金）　出席者 13 名
内　容　夏季休業中の児童クラブの開設について
第 2 回　平成 31 年 3 月 18 日（月）　出席者 24 名
内　容　放課後児童クラブ C の利用について

３　防犯・防災訓練の実施について

第 1 回　平成 31 年 2 月 20 日（水）参加者 16 名＋わくわく子供教室参加者
内　容　防犯訓練（不審者対応）
第 2 回　平成 31 年 3 月 6 日（水）参加者 15 名＋わくわく子供教室参加者
内　容　防災訓練（生涯学習センター防災訓練）
　　避難誘導・初期消火訓練

事業活動支出額　6,204 千円

＜諸事業＞

日本赤十字社広島県支部府中市地区

国内外における災害救護をはじめ、様々な支援を行うための資金源として活動資金募集や義援金の受け付けを行いました。また、府中市内で火災などの災害が発生した際は、被災者に対し救援物資を届けました。

地域住民へ日本赤十字社活動の広報を行い、会員数の増強と活動資金の増額に努めました。

１　活動資金募集の実施

活動資金額合計　3,728,915 円

２　義援金の受付

（１）平成 30 年 7 月豪雨災害義援金　　1,414,573 円（42 件）

３　救援活動の実施

被災者に対し救援物資等を届けました。

被災（全壊）世帯　１世帯
被災（浸水）世帯　２世帯（避難所へ送付）
被災（火災）世帯　1 世帯

４　会議

（１）役員会

平成 30 年 4 月 25 日（火）　出席者 20 名
議事　平成 29 年度活動資金募集結果報告について
平成 29 年度事業報告について
平成 30 年度活動資金募集について
平成 30 年度事業計画について

（２）協賛委員会

平成 30 年 5 月 23 日（水）　出席者 63 名
議事　平成 29 年度活動資金募集結果報告について
平成 29 年度事業報告について
平成 30 年度活動資金募集について
平成 30 年度事業計画について

府中市共同募金委員会

地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援することを目的に、町内会をはじめ関係機関・団体の協力のもと、赤い羽根共同募金運動を実施しました。

募金額の増加を目指し、地域住民に赤い羽根共同募金の趣旨をより理解してもらえるよう運動を展開しました。

（　）内は前年度

１　赤い羽根共同募金運動の展開

取組み期間　10 月～12 月

募金額合計　7,251,703 円（7,504,269 円）

２　赤い羽根共同募金助成金事業

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体からの申請を受け、それを審査し、地域住民から寄せられた募金の中から事業費として助成を行いました。

助成合計額　17 団体 21 事業　4,690,269 円

３　会議

（１）運営委員会

第 1 回　平成 30 年 5 月 30 日（水）　出席者 12 名
議事　平成 29 年度募金事務費会計収支決算について

第 2 回　平成 30 年 9 月 14 日（金）　出席者 12 名
議事　平成 29 年度募金結果について
平成 30 年度共同募金運動実施要綱について
平成 30 年度共同募金目標について

第 3 回　平成 31 年 3 月 12 日（金）　出席者 12 名
議事　平成 30 年度募金結果について
平成 30 年度共同募金助成（平成 31 年度実施事業）について

（２）審査委員会

第 1 回　平成 31 年 2 月 14 日（水）　出席者 6 名
議事　平成 30 年度募金結果について
平成 30 年度共同募金助成事業の審査について
平成 28 年度共同募金助成事業の報告について

（３）業務推進会議

第 1 回　平成 30 年 8 月 28 日（火）　出席者 19 名
議事　平成 29 年度募金結果について
平成 30 年度共同募金運動について
平成 30 年度共同募金目標について